

# 創立20周年記念誌

福祉有償運送事業  
いまわりの集い事業 20年の歩み



特定非営利活動法人  
ヒューマンハーバー世田谷

# 目 次

◆ はじめに・理事長挨拶	3
◆ 創立 20 周年を祝して	4
◆ グ	6
◆ 20 年の歩み (年表)	8
◆ グ	10
◆ 楽しい思い出いっぱい (平成 7 年～平成 10 年)	12
◆ グ (平成 11 年～平成 13 年)	13
◆ グ (平成 14 年～平成 17 年)	14
◆ グ (平成 18 年～平成 21 年)	15
◆ グ (平成 22 年～平成 24 年)	16
◆ グ (平成 25 年～平成 26 年)	17
◆ お祝いのメッセージ (利用者会員の方々)	18
◆ グ グ	19
◆ グ グ	20
◆ グ (役員の方々から)	21
◆ グ グ	22
◆ グ グ	23
◆ 皆様からのお祝いの言葉	26
◆ あとがき	27



## はじめに

### 《趣旨》

人は誰でも、病に倒れたり、その後遺症に苦しんだり、心に傷を負って悩んだりする時があります。そんな時に立ち寄って、痛みや傷を癒し、明日へのエネルギーを吸収して、再び元気に歩き始められるように、手を貸してくれる所があったら…。ヒューマンハーバー世田谷は、そんな思いから設立されました。ヒューマンハーバーはいつも温かい灯をともした「人間の港」でありたいと思っています。当会では、この趣旨に沿って「ひまわりの集い」を開設しています。そこでは障害の有る無し、老若に関わらず誰もが集える楽しい場として、書道、俳句、料理、バーベキュー、一泊研修旅行、日帰りドライブ(四季の花や紅葉を訪ねて等)など、様々な集いが催されています。このように「ひまわりの集い」は、家に引きこもりがちな障害者が、気楽に参加できる小さな社会であり、また障害があっても前向きに生きられるように、その人に残された能力を十二分に發揮していく励ましの場でもあります。

「ひまわりの集い」は、ノーマライゼーションを理想に掲げるだけではなく、それを実践する場でありたいと思っています。また当会では障害者や高齢者が気楽に「ひまわりの集い」に参加できるように、また積極的に社会参加できるように、移送サービスも実施しています。このように、ヒューマンハーバー世田谷は、「ひまわりの集い」と「移送サービス」を主な事業として、障害者も高齢者も住み慣れた地域で、活き活きと生活できるように支援する活動を行なっています。



ご挨拶

理事長 隅 一清

皆様のお陰で 20 年という節目を迎えることができました。区が主催する障害者のバス旅行に記録係として千葉のマザー牧場と一緒に参加したのが縁となって、前代表の水間喜美子さんとの交流が始まりました。最初のうちは、移送サービスのお手伝いやリサイクルの空き缶の回収のお手伝いから、いつの間に料理人になって、研修旅行の夕食作りや総会の後の懇親会の料理等、すべてやらされていました。

団に乗って本業の写真業をほっぱらかして、料理教室などもやっていました。ひまわりの集いの記録の写真を見ていると楽しい思い出が湧き出でます。他界された方も多くいます。多くの人達に支えられて 6 月 21 日に無事記念すべき日を迎えられることは、身に余る光榮です。これからは、一年でも長く、この事業が推進できるように、良き後継者を育てていきたいと思います。昨年度から、外部の理事を迎えたことで、井の中の蛙が急に視界が開け、多くの意見が聞こえるようになりました。諸先輩の皆様方には、今後共ご指導をお願い致します。

# 創立20周年を祝して

(順不同)

## 創立20周年を祝して

小堀 由祈子（世田谷区障害福祉担当部長）

「特定非営利活動法人 ヒューマンハーバー世田谷」創立20周年、誠におめでとうございます。心からお喜び申し上げます。

貴法人は、平成7年5月に始められた移送サービス事業のほか、「ひまわりの集い」など、20年という長い歳月に渡り、老若男女、障害の有無に関わらず、誰にでもいつも温かい灯をともし寄り集まる「人間の港」として、たゆまぬ努力を積み重ねられ取り組んでされました。これまでの理事長をはじめ、役員、会員の皆様の活動に心から敬意を表しますとともに、世田谷区の福祉施策の推進に大いに寄与されましたことに厚くお礼申し上げます。

世田谷区では、平成27年4月から、今後6年間の障害者のための施策に関する基本的な事項を定める基本計画である「せたがやノーマライゼーションプラン」と、今後3年間の障害福祉サービス等の方策を定める「第4期障害福祉計画」をスタートさせました。「障害の有無に関わらず、誰もが住み慣れた地域で自分らしい生活を安心して継続できる社会の実現」に向けて、今後とも皆様のご協力を賜りながら、福祉施策に取り組んでまいります。

結びに、「特定非営利活動法人 ヒューマンハーバー世田谷」の更なるご発展と、会員の皆様の益々のご健勝、ご活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせて頂きます。

## 創立20周年に寄せて

世田谷区障害者福祉団体連絡協議会会长 杉田 春義

「特定非営利活動法人ヒューマンハーバー世田谷」が創立20周年を迎えたことを、心よりお慶び申し上げます。

貴法人設立当時は、障害者の自由な外出が困難な時代でございましたが、20年にわたる貴法人の活動により、地域で生活する障害者の社会参加の機会は格段に向上いたしました。貴法人のたゆみなきご尽力の賜物と、心から敬意を表します。

世田谷区障害者福祉団体連絡協議会は、障害者が住みなれた地域で安心して暮らせる地域社会の実現を目指して活動しております。明年的「障害者差別解消法」の施行に向けた取り組みにも積極的に関与し、障害者の生活の更なる向上を推進して所存です。貴法人も当会の一員として、障害者が安心して地域で生活して行くために、引き続きお力添えをいただきますよう、お願い申し上げます。

結びに、「特定非営利活動法人ヒューマンハーバー世田谷」と会員の皆様の益々のご発展とご健勝を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

## 20周年おめでとうございます

NPO法人せたがや移動ケア 鬼塚 正徳

ヒューマンハーバー世田谷とは95年に前会長の水間さん達と一緒に世田谷移動サービス協議会を設立して、NPO同士の共通会員などを検討した時からのお付き合いです。その協議会の活動も今はせたがや移動ケアに引き継がれ、いまでもボランティア運転者講習会の講師派遣などで松宮さんはじめヒューマンハーバー世田谷にはお世話になっています。

当時から移送サービスやひまわりのサロンやお出かけのツアーなど、行政施策を先取りした事業をこれまでボランティア活動で続けてこられたことに敬意を表します。特に、隅会長が熱心に高齢者や障がいをお持ちの方を対象にお出かけの機会を作るデイトリップをほとんど毎月実施しているのには驚きます。このノウハウはぜひ我々にも伝授頂きたい。これからもこの地域に笑顔を作り広げていくヒューマンハーバー世田谷の活動に期待します。

## 創立20周年おめでとうございます

世田谷区議会議員 いたいひとし

創立20周年心よりお祝いを申し上げます。

総合福祉センターで職員として働いていた時に、水間喜美子さんと出会いました。働き盛りで障がい者になりながら、後年は障がいのある方の力になりたいという思いが、全身からみなぎっているような方でした。そんな情熱にかられ、微力ながら、ヒューマンハーバー世田谷の立ち上げを手伝わせていただけたことを光栄に思っています。

発足時に一番の課題だったのは、通院や社会参加に欠かせない移送手段の確保にありましたが、幸いにも多くの皆様の努力が実り、福祉車両1台が手配でき、「ひまわりの集い」の活動がスタートできた時は大変嬉しい気持ちになりました。

以来20年、貴会は当事者のみならず家族の拠り所として、また地域の高齢者の生きがい形成に大きな役割を担ってきました。こうした先駆的な取り組みは、時代を経るごとに、ますます重要性が増すばかりか、これから地域包括ケアにとって、模範的な地域活動として寄与するものと期待しております。

結びに、貴会の更なるご発展と会員皆様のご健勝を祈念いたします。

## 創立20周年おめでとうございます

世田谷区議会議員 高久 則夫

特定非営利活動法人ヒューマンハーバー世田谷様におかれましては日頃より、世田谷区の障害者福祉施策、福祉運送事業に対してご尽力いただきまして心より感謝申し上げます。

また、今回、創立20周年記念総会が盛大に開催されますことに、心からお慶び申し上げます。

今年は、貴法人が福祉有償運送を開始してより20周年を迎えられました。当初は、福祉車両一台からの出発で大変ご苦労されていたこともお聞きいたしました。

理事長をはじめ、みなさまにおかれましては、今日まで数え切れないほどのご苦労があったことと存じますが、その困難を乗り越え、今日の総会を迎えることができましたのも、日々のご努力の賜物と、敬意を表します。

私どもも、障害があっても地域で安心して住み続けることができる地域社会、共生する社会の実現に向けて、全力で努力してまいります。

結びに、隅理事長を中心にお会員の皆様が、さらにご活躍されますことを申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

## 会創立20周年によせて

NPO法人世田谷ミニキャブ区民の会 理事長 萩野 陽一、

会創立20周年に際しまして、心よりお祝い申し上げます。発会の頃、水間喜美子前代表の情熱にあふれた活動に、当時30歳を超えたばかりだった小生は、圧倒されっぱなしだった思い出があります。「萩野君、若いんだからもっと頑張らなきゃ！」と、よく発破をかけられたものです。

その当時、世田谷区内で移送サービスを実施していたのは、貴会も含め6団体でした。この6団体が、情報交換と利用者の利便性向上を目的としたネットワーク組織、世田谷移動サービス協議会を運営していました。月1～2度集まって、その時々の課題について、熱く論じ合ったものです。ここで地道に重ねてきた議論が、現在ある世田谷区福祉移動支援センターにつながったと小生は思っています。

時は流れ、福祉限定タクシーやUDタクシーが台頭してくる中で、NPO法人が福祉有償運送をやる真の意味は何か、考えさせられることがあります。その時、貴会の活動である旅行やひまわりの集いなどの社会参加促進活動と一体となった移送サービスがヒントをくれます。出かけたいと思う動機がなければ、人は動きませんよね。そのきっかけをどのように作っていけるかが、私たちが福祉有償運送を提供し続ける意味なのではないかと思います。

こうした意味からも、貴会の実践にあらためて敬意を表します。貴会の益々のご発展を祈念いたしますとともに、区内で活動する移送サービス団体として、弊会との協力関係もなお一層、強めていただくことをお願いしてお祝いの言葉とさせていただきます。

## 30年、50年に向けて

なごみ福祉会ここから 統括施設長 北川 千鶴子

「移動支援を始めて、20年」とお聞きして、世田谷区の中でまさに「地域の暮らし」を支えていらしたことには、心から[すごい!]、そして「世田谷の福祉」の原点に触れた感じがしました。

昨年の12月、事業開始をした児童デイサービス事業、当然、ご家族の負担軽減と誰もが気軽に利用できるようにと、「送迎サービスありき！」で計画をしていたものの、蓋を開けたら、「予定していた車両への補助金がダメ」「運転手が足りない」「送迎サービスを希望するお子さんの数が予想をはるかに超えていた」etc.。。。《万事休す》と頭を抱えていた所に、天の助け「NPO法人ヒューマンハーバー世田谷」と出会いました。

30周年、50周年に向けて、貴法人の活動にエールを送らせていただきます。

## “祝”開港20周年

サン・ゴールド介護タクシー 望月 明夫

ヒューマンハーバー20周年おめでとうございます。ご縁で理事をお受けしながら、名ばかりの理事で申し訳なく思っております。私自身も中学校の教員時代と教育委員会在職のご縁と教え子のご協力で、停年退職後に介護タクシーを開業しております。手法こそ違えども、「お人を運んで双方の喜びとする」ヒューマンハーバーの精神に共通するものを感じております。とりわけ隅代表をはじめ、スタッフの皆様のご尽力には頭が下がるのみです。私自身も、空いた時間に搬送をお手伝いしたり、還暦手習いのサックスを吹かせて頂いたり、ヒューマンハーバーが益々ご活躍、発展される事を願いつつ、今後とも微力ながらお手伝いできればと思っております。



## 20年振り返って

前代表 水間 喜美子

早いもので20年。設立した頃は若かったなあとつくづく懐かしく思い出されます。隅さんが快く引き継いで下さり、私も安心して埼玉へ来ることができました。

当初、目が不自由な私に代わり、故伊澤博氏が書類作成等の全ての事務を担当して下さいました。自宅の事務所とした一室に、小柄なお父様が自車で送迎して下さる度、彼を抱き上げて事務所の椅子に座らせて下さっていた光景が、今でも目に浮かび、伊澤氏父子のお力がなければこの会はできなかつたと忙しくしていた当方が懐かしく思いだされます。

彼の仕事を亀井さんが引き継いで下さり、今も続けて下さっている今日を思うと感謝に堪えません。

当時は、学習教室として使っていた2階の部屋で、昼食を共にしたり、今も続いている加藤先生の書道教室や色々な集いをしたりしていました。だんだん公的な場所をお借りし、ボランティアの皆様に支えられ、活動を広げることができました。

区もとても好意的で、画家の青山氏が車いす2台固定できる車を寄贈して下さった時には、役所の中庭で区が贈呈式をして下さったこと、今でも忘れられません。小回りがきくようにと車椅子1台固定の車を追加で購入したことでも夢のようです。

人間にも疲れたり病んだりした時に安らげる港が必要と「ヒューマンハーバー」と名付けてスタートした当初は、中島さんと山口さんを中心とする車を持ち込んでのボランティアドライバーの方に支えられての毎日でした。今でも感謝の気持ちちは消えません。

リハビリの為入院していた七沢病院でお世話になった員見先生に、公私に渡り何かとお力になっていただき、今も会を支えて下さっているご様子、心から感謝しております。

色々な方々のご協力があって楽しい日々だったなと当方が思い出されます。

隅さんが引き継いで下さった後、旅行や食事会等益々会の行事は盛んとなりうれしい限りです。今後も会の名通り、ヒューマンハーバーが「人間の港」となって下さることを願っています。

## 尊敬すべきこと

菅野 孝夫（俳句に親しむ会講師）

当然のことながら、ヒューマンハーバーでお会いするたちは、身体的になんらかのハンデを抱えている人がほとんどです。高齢になれば誰でも病気がちになり、足腰も弱ってくるのは仕方のないことですが、問題はそれをどう受け入れて、どう折り合いをつけて生きるか、人それぞれの生き方が問われるようです。

身体的には健康万全とは言えないようですがしかし、精神は極めて健全で、頭脳だって若い者に負けないくらい活発に働いて、好奇心旺盛で、向上心も野次馬根性も健在のようです。これは尊敬すべきことです。頭の下がる思いです。

私の教室に関して言えば、八〇歳過ぎてから始めた人でも、俳句は確実に上達します。学ぶに遅いということはないのだという、貴重な教えです。みなさんとお付き合いをして多くのことを教えていただきました。ありがとうございます。

二〇周年おめでとうございます。理事長初めスタッフのみなさんに敬意を表します。

# ヒューマンハーバー世田谷20年の歩み

## 1995年

5月 水間喜美子代表がヒューマンハーバー(人間の港)ひまわりの家創設、障害児学童クラブ、ダンスクラブ、スピーチクラブ、リハビリ、書道クラブ(加藤衛先生指導)、食事会等を開催

### 役員

理事長 小島喜太郎

運営委員長 水間喜美子

副代表 瀧本清尚(移送サービス責任者)

監査 田中憲子



## 1996年

3月 ひまわり通信創刊

大多和晃紀先生(東村山市文化財保護審議委員)による歴史散策—旧江戸城

## 1997年

5月 ふれあい音楽会 手話ダンスで参加 参加7名

12月 区民ふれあいフェスタ97 於「世田谷区民会館」作品出品

## 1998年

3月 歴史散策—目黒不動 参加26名

5月 総会 於「ひまわりの家」出席14名

### 新役員

代表 水間喜美子

副代表 瀧本清尚

会計 亀井歌子



## 1999年

1月 新年会 於「水間宅」

5月 総会 於「下馬南地区会館」

### 新役員

代表 隅一清

副代表 瀧本清尚

会計 亀井歌子

11月 歴史散策—晩秋の北鎌倉 参加22名



## 2000年

7月 丹沢早戸川ます釣り 参加10名

歴史散策—奥多摩の旅 参加21名

8月 1泊2日熱海研修旅行 参加12名



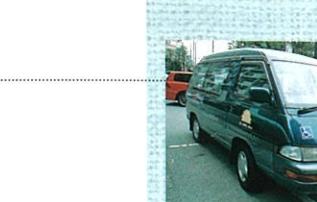
## 2001年

3月 二子玉川兵庫島公園バードウォッキング 参加17名

5月 歴史散策—武藏野と新茶を訪ねて 参加16名

11月 第1回菅野孝夫先生指導「俳句に親しむ会」

12月 ふれあいフェスタ 於「烏山区民センター」作品展示



## 2002年

3月 金沢文庫と横浜三渓園 参加19名

8月 市川大門碑林公園 参加16名

## 2003年

4月 花を訪ねての旅—成田山新勝寺と印旛沼チユーリップ 参加12名

11月 日本財団福祉車両セレナチャチャ助成決定



## 2004年

2月 野鳥観察と水族園見学—葛西臨海公園 参加17名

6月 1泊2日研修旅行—裏磐梯五色沼と淨土平 参加15名

9月 昭和記念公園バーベキュー 参加17名



## 2005年

2月 1泊2日研修旅行—真鶴半島と大島椿まつり 参加18名

6月 花を訪ねての旅—水元公園の花菖蒲 参加17名

9月 臨時総会 於「野沢児童館」特定非営利活動法人化決定

10月 花を訪ねての旅—久里浜花の国コスモス 参加20名

12月 区民ふれあいフェスタ05 作品展示



## 2006年

1月 新年会 於「中丸デイホーム」 参加23名

2月 1泊2日ドライブ旅行—河津桜と下田めぐり 参加25名

5月 特定非営利活動法人認証第1回総会(通算12回) 参加24名 来賓11名

8月 東京湾屋形船クルーズ 参加19名

12月 区民ふれあいフェスタ06 作品展示

忘年会 於「イタリア食堂ヴィーノ・ウノ」 参加17名



## 2007年

2月 1泊2日研修旅行—館山農業体験ツアー 参加18名

4月 さくら祭りバザー出店

12月 紅葉と鮮魚市場を訪ねて—茨城・花貫自然公園 参加33名



## 2008年

1月 新年会 於「華空間」 参加30名

4月 花を訪ねての旅—甲府ハーブ園 参加27名

7月 1泊2日研修旅行—長良川鵜飼い見学 参加23名

10月 那珂川の落ち鮎と袋田の滝見学の旅 参加34名

12月 忘年会 於「木曽路碑文谷店」 参加21名

ナイトツア—イルミネーション見学 参加25名

## 2009年

1月 新年会 於「華空間」 参加28名

2月 1泊2日研修旅行—知多半島から渥美半島へ 参加32名

4月 さくら祭りバザー出店 於「総合福祉センター」

花を訪ねての旅—箕郷の芝桜見学と水沢うどん 参加31名

6月 2泊3日沖縄研修旅行 参加20名

9月 花を訪ねての旅—巾着田曼珠沙華公園 参加32名

10月 1泊2日研修旅行 福島横断の旅 参加22名

11月 紅葉の武藏丘陵森林公園散策 参加36名

12月 区民ふれあいフェスタ09 作品展示・バザー

忘年会 かに料理屋利休 参加32名



## 2010年

- 2月 花を訪ねての旅 ひたち海浜公園 チューリップと水仙見学 参加32名  
4月 さくら祭りバザー参加 於総合福祉センター  
5月 一泊二日研修旅行 九十九里かんぽの宿旭 参加25名  
6月 15周年記念事業、第5回通常総会 記念祝賀会 於スカイキャロット 参加46名  
7月 花を訪ねての旅 行田古代蓮見学 参加30名  
8月 暑気払い昼食会 於狛江ヴィーノ 参加30名  
9月 花を訪ねての旅 千葉ドイツ村、市川ゾウの国見学 参加32名  
10月 一泊二日研修旅行 新潟ニューグリーンピア津南 参加28名  
11月 紅葉を訪ねての旅 修善寺虹の郷 参加26名  
12月 区民ふれあいフェスタ 於世田谷区役所中庭・ホール  
忘年会 千葉九十九里かんぽの宿旭 参加28名  
1月 新年会 於中華レストラン華空間 参加37名  
2月 花を訪ねての旅 筑波山梅林 参加28名



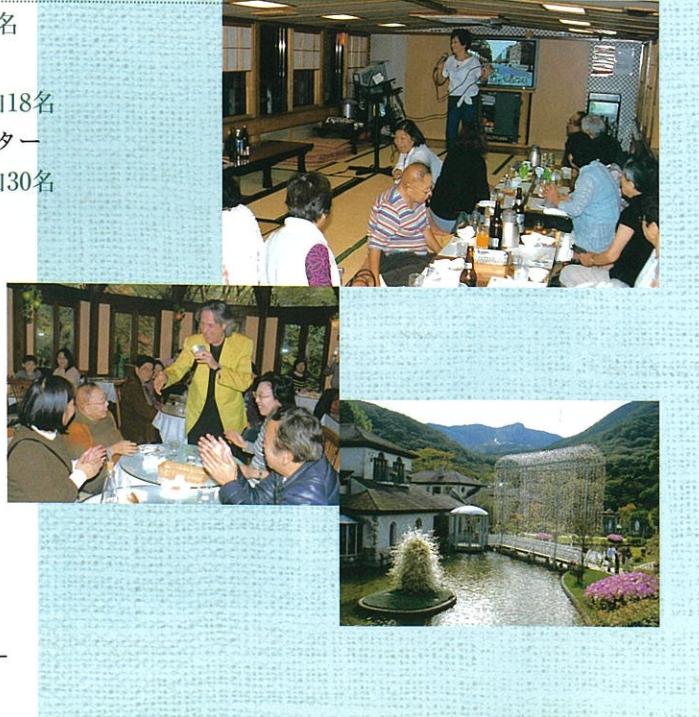
## 2011年

- 4月 花を訪ねての旅 箱根芦ノ湖畔 箱根園 参加29名  
さくら祭りバザー参加 於総合福祉センター  
5月 一泊二日研修旅行 河口湖富士レイクホテル泊 本栖湖芝桜公園 参加22名  
6月 第6回通常総会開催 於下馬ボランティアセンター 参加42名  
7月 花を訪ねての旅 八景島シーパラダイス 参加30名  
8月 暑気払い昼食会 狛江イタリア食堂ヴィーノ 参加29名  
9月 花を訪ねての旅 秩父ミュージックパーク コスモス見学 参加28名  
10月 一泊二日秋の研修旅行 那須・塩原 かんぽの宿塩原 参加21名  
11月 秋の日帰りドライブ 奥多摩湖 参加29名  
12月 区民ふれあいフェスタ展 於区役所中庭・ホール  
忘年会 碑文谷木曾路 参加30名  
1月 新年会 於中華レストラン華空間 参加30名  
2月 花を訪ねての旅 越生梅林 参加33名



## 2012年

- 4月 花を訪ねての旅 稲敷市和田公園チューリップ見学 参加27名  
さくら祭りバザー参加 於総合福祉センター  
5月 一泊二日春の研修旅行 那珂川苑 水晶湖、益子焼見学 参加18名  
第7回通常総会開催 出席者37名 於下馬ボランティアセンター  
6月 花を訪ねての旅 明野村ひまわり見学、ハイジの村散策 参加30名  
暑気払い昼食会 狛江イタリア食堂ヴィーノ 参加37名  
9月 納涼屋形船食事会 参加27名  
10月 一泊二日秋の研修旅行 黒姫高原～湯田中温泉 参加18名  
11月 紅葉を訪ねての旅 箱根ガラスの森美術館 参加42名  
12月 忘年みかん狩りと食事会 参加31名  
区民ふれあいフェスタ展 於区役所中庭・ホール  
1月 新年会 於中華レストラン華空間 参加35名  
2月 花を訪ねての旅 房総花摘みの旅 参加31名



## 2013年

- 4月 花を訪ねての旅 秩父羊山公園芝桜見学 参加32名  
さくら祭りバザー総合福祉センター  
5月 春の一泊二日研修旅行・草津温泉～信州への旅 参加27名  
6月 第8回通常総会 於せたがやがやがや館 参加42名  
7月 丹沢早戸川マス釣りとバーベキューの旅 参加31名  
8月 暑気払い昼食会 狛江イタリア食堂ヴィーノ 参加27名  
9月 東京湾クルーズ・シンフォニー食事会 参加40名  
10月 秋の一泊二日研修旅行 福島スパリゾートハワイアンズ 参加16名  
11月 紅葉を訪ねての旅 国営昭和記念公園 参加29名  
12月 忘年旅行会 千葉九十九里かんぽの宿旭(日帰り) 参加29名  
みかん狩り 小田原早川  
区民ふれあいフェスタ展 於区役所中庭・ホール  
1月 新年会 於中華レストラン華空間 参加30名  
2月 花を訪ねての旅 早春の三浦半島 参加30名  
3月 ミニライブ 大野義夫コンサート 於華空間 参加32名



## 2014年

- 4月 花を訪ねての旅 館林つつじが岡公園 参加37名  
さくら祭りバザー参加 総合福祉センター  
5月 春の一泊二日研修旅行 千葉養老渓谷～かんぽの宿勝浦 参加22名  
6月 第9回通常総会開催 せたがやがやがや館 参加42名  
7月 福祉バス利用日帰りドライブ 八ヶ岳清里高原 参加33名  
8月 暑気払い昼食会 狛江イタリア食堂ヴィーノ・ウノ 参加35名  
9月 花を訪ねての旅 山梨ぶどう狩りとワイン工場見学 参加30名  
10月 秋の一泊二日研修旅行 越後湯沢大源太山 参加20名  
11月 福祉バス利用日帰りドライブ 河口湖紅葉の旅 参加28名  
12月 小田原早川みかん狩り 参加23名  
区民ふれあいフェスタ展 於区役所中庭・ホール  
日帰り忘年旅行九十九里太陽の里 参加26名  
大野義夫クリスマスライブ  
1月 新年会 17日(土) 於中華レストラン華空間 参加34名  
3月 花を訪ねての旅 小田原曾我梅林 参加37名



# 移送サービスご利用の方からのお祝いの言葉

(順不同)

## 御祝いと感謝

藤田 由紀子（利用者）

創立20周年をお迎えになり、まことにおめでとうございます。私は週3回病院へ行かなければならず、もう何年になりますでしょうか、貴会に送迎をお願いしております。その度毎にタクシーを無線で呼ぶのでは拾えない事もあり、その点今は非常に安心して通院できております。

また、未だ私は旅行等には参加した経験はありませんが、ドライバーさんのお話しを伺うと東京都内の他の移送業者では、ドライブ旅行等を行なっているところはないそうです。移送するだけでなく、下見をする等御苦労も多いでしょうが、利用者の楽しみの為あえて企画していらっしゃるという事に頭の下がる思いがいたします。

ドライバーさんは、時間の枠がある中、1日に何件も移送をされて大変なお仕事とは思いますがこれからもよろしくお願ひいたします。

## 出会い・・・それから。

平野 和人（利用者）

私がヒューマンハーバーと出会いて今年で8年目になります。最初の出会いは再就職の面接の日でとても印象に残っています。人生の節目で大勢の人々と出会いお世話になって来ました。私が怪我で車椅子になって会社勤めが出来なくなったら、世田谷区で障害者の就労支援をしているNPOで勉強をさせてもらい再就職が出来たことも1つの出会いから始まりました。その後研修や通院などで足となってくれたのがヒューマンハーバーでした。1回の移動時間は30分くらいですが、いつも楽しいお話が出来て時間の経つも忘れてしまっています。突然の無理なお願いにもいつも応えて下さる隅理事長やスタッフの方々にも感謝しています。

この度は創立20周年おめでとうございます。これからも永く続いていってくれることを心より願っております。

## 思いで色。色。

鈴木 季子（利用者）

ヒューマンに入会して早10年以上？え！！私も若かったんだなあ、今も気持だけは全然変わりませんがねえ！

水田に写る銀色の山脈、木々花の鮮やかな色、燃える様な紅葉も素敵。チョッピリ美味しいお酒。よくよする事なんてないんだー。焼きもちの性格は直らないけど、ま！いいか！今70才過ぎの手習いは下手くそで、情けないので、気持がとても落ち着くのです。長く続けられたらと思っています。現在は足が年々反抗期でゆう事を聞かなくなってきた。いつ迄旅行に参加できるか心配です。でも皆様の温かいお手伝いに感謝している日々です。



## 水仙の群落を見て

北村 静子（利用者）

日帰り旅行の想い出

平成22年4月18日

短歌3首

「めぐる」

寄りゆけばほのかに薫る水仙の黄の群落や生国はどこ  
(松林に100万本の水仙を見て)

大海原をこえて海人部(あまべ)はきしならむ観覧車に眩し水平線は  
鮪、海胆、ままかり、蝶や車椅子に那珂湊市場の活気をめぐる

## ヒューマンハーバーと私

富永 好子（利用者）

ヒューマンハーバー世田谷にご縁を得て3年。どんなに虚勢を張ってもどうにも動いてくれない足腰(あしこし)。年々進行する歩行困難。転びもしないのに脊椎はいたるところつぶれ圧迫骨折で、元々高くもない身長は8センチも縮んでしまった。レントゲンで見ると脊椎はスカスカ。医師も「これじゃあ痛いだろうなあ」とつぶやく。抗がん剤と併用した多量のステロイドのなせるわざか。だからといって家にうずくまっていられようか。戸籍上の年齢(とし)など問うてもらいたくない。気持ちは常に50才台(のつもり)ずっと。固有名詞はもとより、言葉もパッと出てこなくなった今、それでも50才代を維持(つもり)。ヒューマンハーバーのお陰で、今は大いに日帰りバス旅、一泊研修旅行を楽しんでいる。コースの内容も申し分ない。毎月実施してくれるのも嬉しい。脊椎に負担がかからぬよう座席の配慮も実に有難い。我々は、ただ無邪気にルンルンとはしゃいだ気分で出かけるが、長年、参加する身障者、高齢者が満足し楽しんでもらうための準備、実施する運営側の並々ならぬご苦労があってこそ頭がさがる。今後も健康面に留意し、参加皆勤でヒューマンハーバーのバスに乗って、遊ぶ、楽しむ、人と交わり語らい、笑い、自分を喜ばせて、いつも明るく、機嫌良く、感謝で暮らしたい。さて、この身体(からだ)いつまで参加できるかが問題だ。

## ひまわりと私

矢我崎 和子（利用者）

ひまわりの集いで、針の穴通しのお手伝いをしてくれませんか、という記事を新聞でみかけたことが、私とひまわりのお付き合いの始まりでした。今から20年以上前のことです。その頃は、スタッフも少なく、会則もなく、気のむくままのゆるーい集まりでした。

その会が発展し、この様な盛大な組織に落ち着いたことは、喜ばしく感じ入りました。

これからも、障害者に寄りそい、手をさしのべ合っていく会であります様に、祈っております。ますますのご活躍を、陰ながら応援しております。



### 介護タクシー

八木 傳内（利用者）

4年前に、静岡県三島より東京へ、移りました。

そのころ三島から新幹線、中央線と乗り換えて、武藏野病院まで、月に一度2時間以上かけて、通院しておりました。まだ杖での歩行が出来て居りました。介護も大変らくでした。東京に参りましてから、石川マネージャーよりヒューマンハーバー世田谷さんを、紹介していただきまして、現在に至ります。

ヒューマンハーバー世田谷さんは、今まで一度もトラブルもなく、陽代表をはじめ、皆様も大変親切で、診察も2時間以上かかる時もございますが、一度も嫌な顔をせず対応して下さいます。感謝で一杯でございます。

これからも宜しくお願ひ致します。

そして益々のご発展をお祈り致します。



### 野沢発！ヒューマンハーバー世田谷

田中 憲子（利用者）

隅代表より、一番古い会員なのでは？と声がかかりました。

新米民生委員で、地域を回っている時にひまわり会（ひゅーまんはーばー世田谷）の水間さんにお会いしたのがきっかけでした。

かれこれ19年になります。前代表の水間さんは車椅子での生活をしながら、親御さんのいらない子供さんの勉強をみたり、お泊りの機会を作ったり、又恒例の方が集まる場にとご自宅を提供して書道の会を開き、食事会なども開いていました。少しでもお手伝いできればと郵便物を読んだり、まるつけをしたり、一緒によく出かけました。懐かしいです。

その後この会でお料理教室があった時は、とっても楽しみで参加しました。隅さんがお料理上手でびっくり！という記憶です。

国の移送事業になくてはならないヒューマンハーバー世田谷に発展されたこと、心よりお祝い申しあげます。



## 役員の皆様からのお祝いの言葉

(順不同)

### 継続は力なり

員見 芳房（副理事長）

会社に対する社員の信頼や仕事への自信の反映だと思いますが、堅実で売り上げ好調な会社の職場は清々しい緊張感が漂い、社員の人柄が皆同じように見えると感じられるそうです。

ヒューマンハーバー世田谷は20周年を迎えるました。継続は力なり。この力はヒューマンハーバー世田谷の活動に対する会員の皆様の期待と信頼、そして、活動を支え、参加している皆様の良き人柄によって得られたものだと思っています。

### ひとりのボランティアを育てたヒューマンハーバー

加藤 衛

創立者水間喜美子氏が、野沢の自宅の小さな灯火の元、何人かの同志と利用者が寄り集まって、革細工・書道・誕生会・食事会・・・等を行っていました。和気藹藹とした雰囲気の引きずり込まれるように誕生したボランティア加藤が、今年で二十年目を迎えます。

担当の書道だけでは物足らず、歴史散策・・・隅代表に代わってからの四季の花々を訪れるドライブ等々に、殆ど休むことなく参加。休憩所や目的地では、率先して慣れぬ手つきで車椅子を押したり、手をとりあったりして、高齢者や障害ある方々と接してきました。この世界には全くの無知（知らうともしなかった・のほほんと暮らしてきた）の私の心の奥底に大きな刺激を与えてくださったのが、利用者であり、スタッフだったのです。悪路も坂道も人生の道、車椅子を押しながらの何気ない会話のやり取りの大切さ・・・ボランティアの必要性とやりがいを感じたのでした。ボランティアをやって我が心が満たされる、そして、自分が成長する！それがボランティアをやってきての、自分自身に与えた大いなる報酬なのです。

この会に、少し若い（60～70歳前半くらい）方々が、行事専門のボランティアを目指して加入して下さると、ヒューマンハーバーからの出航もますます活気が出てくるのではないでしょうか！

### 外見で見える方だけが障害者ではありません

山口 愛子

創立20周年おめでとうございます。

1人ではどこへも出られませんのでドライブや1泊旅行は楽しみにしています。1つだけわかっていただきたいのは内部障害の人もいると言う事です。私は頸椎から腰椎まで悪く胸椎は骨も削っていますので身体を叩く前に言葉をかけて下さい。痛みが消える事は有りませんのでよろしくお願ひ致します。



## ヒューマンハーバーと共に 亀井 歌子

20周年おめでとうございます。私も関わらせて頂き18年になります。ヒューマンハーバーの山あり、谷ありを乗り越えて20年、代表始め皆様のご協力の基盤があるのです。理事の一人として深く感謝致します。

益々の発展とはいかなまでも現状維持で継続してほしいと想います。代表始め私達も高齢になってしましました。せめて60代の方の参加がほしいです。水間先生の灯した火を消さないでほしいと思っています。今後も必要とされる間は協力を惜しまないつもりでいます。代表もお体を大切に頑張って下さい。



## いつまでも続けてほしい 高橋 千恵子（監事）

私は前会長の水間さんと近所の眼科で一緒になったのが縁でヒューマンハーバーに入会しました。当初は月一回の通院時に会の車でお世話になっていました。其の後会の役員になり、会計の手伝いをしております。

足手まといの私を、季節の花の咲く楽しい旅行について行って頂いたり、書道教室や絵手紙の会等の集りにも参加させて頂いたりしています。旅行の時などは、ボランティアの方々が、バスから車椅子を降ろして、散策したり、食事したりする時も必ず付添ってもらえるので、安心して参加出来ます。バスの中には、お茶菓子や飲物等も用意されているので退屈しません。

参加する方も年々多くなり、新しい会員も交えての旅は、今後もずっと続けてほしいと思うのは私だけではないと思います。

担い手の高齢化は致し方ないのですが、無理をしないで続けて下さい。

## バスハイクの思い出

秋山 フミ子・伊藤 恵美子

ヒューマンハーバーのバス旅行に、私の利用者の秋山さんと時々参加させて頂いています。「一番楽しかった旅行は？」と伺うと「箱根のガラスの森美術館」だそうです。レストランで美味しい食事と素敵なカンツォーネの生演奏を目の前で聞かせて頂きうっとり！！

紅葉した庭、煙突を登るサンタクロース、ガラスのカーテンが幻想的でした。

那珂川の落ち鮎を食べに行ったのが初めての参加。それ以降、日帰りバスハイク、春秋の1泊研修旅行…と楽しく参加させて頂いています。以前イカ墨のパスタが有名なお店で昼食を頂いた時「隅さんは和食が好きだけど皆さんに食べさせたいと思ってこの店を選んだ…」と伺い、下見に行き皆さんに美味しい物を…と色々考えて下さるお気持ちがとてもうれしく、私はバスに乗って参加するだけですが、下準備の大変さを改めて思い、感謝しております。ありがとうございます。

## 移送ドライバー活動を始めて 樋村 兑子

創立20周年おめでとうございます。

人間の関わりとして、いろいろな人がいるなあ……。自分の事しか考えていない人、思いやりのある人、移送していると、さまざまな人間模様がくりひろがり、楽しいこともあります。疲れることもあります。運転することは大好きだから、いやなことがあっても何年もつづけられるのかもと思います。口もきいてくれなかった人が、突然心を開いてくれた時は、最高にうれしいです。利用者の家族等、最初は、なんの協力がなく、つめたくあしらっていたのが、家族全員が協力してくれ、あたたかい言葉をかけてくれたりすると、今までの苦労が、ふっとんでしまいます。あと何年できるかわからないですが、できるかぎり頑張りたいです。

## 旅先で思ったこと

虹の会 大塚 淑子

この度、突然にヒューマンのサービス利用者になりました。骨折でギブス生活を余儀なくすることとなり、日々応援していただき、大変お世話になりました。

その後入院などがあり、一遍に来た厄を払うべく、桜の吉野山と、1200年御開帳の高野山へ参拝ツアーに参加しました。

その道中混雑の中、車いすのグループに出会いました。

それぞれ6台にスタッフが一生懸命に介助しながら山道や参道を上り、参拝されておりました。参加できる方々の表情は、実に嬉しそうでした。その様子を見て、参加できた方々は幸せだなあと感じると同時に、支える方々にも視線が止まりました。ふとヒューマンの旅行に思いを重ねました。

私ども老若男女、障害ある者もないものも平等に、人々が寄り集めて楽しいひとときが送れるヒューマンの旅行も、スタッフみなさまの惜しみない支援があればこそ。

代表の「皆が喜ぶ顔が見られたら、それでいいんです。」との言葉に、感謝をしつつ参加しか出来ない私どもは、プランを大いに楽しんで労に答えることだと思いました。

会が引き続き明るく健康な会として盛会されることを祈念したいと思います。



## ヒューマンハーバー創立20周年、おめでとう！！ 佐藤 裕美子（顧問）

20年という年月は、赤ちゃんが成人式を迎えるまで成長する年月と考えると、ヒューマンハーバー世田谷はなんと立派なNPO法人に成長したことでしょう。これも日々、隅代表が私達を叱咤激励し引っ張ってくれたおかげと感謝しています。これからも私達の良き親？の心で成長を見守っていて欲しいと思います。

高齢者（数年で私も）障がいのある方、子供もみんなが集う港、母親の懷に包まれたよに暖かく、ほっとできるヒューマンハーバーであり続けることを祈っています。

## 20周年に寄せて

松宮 垣二（顧問）

ヒューマンハーバー世田谷を創設された水間喜美子さんは私が世田谷ミニキャブ区民の会でボランティアドライバーをしている時に当会創設以前に何度か送迎をさせて頂いたことがあります。その水間さんが始められた頃の事業がほとんど継承され、発展させてきたのが現在の会であると思います。

20年前の1995年というと、1月に阪神・淡路大震災、3月にオウム真理教による地下鉄サリン事件があり、物情騒然とした中、5月に当会が誕生したことになります。

私は2002年に隅さんに引っ張られてドライバーとして入会しました。

当初、外出困難な高齢者・障害者の会の行事への送迎から始まった移送サービス事業も今では会の事業の大きな柱に成長しています。また区内では他に類例のない毎月の旅行行事も充実した内容になってきました。

今後は自然災害、社会不安、個人的な非常事態などの際にも会として行政を補完して何らかのお役に立てるように育つていければ良いと思います。

今後とも会の事業を継続・発展させるために会を支えていきたいと思っております。

## ヒューマンハーバーとの出会い

大熊 郁美（理事）



20周年おめでとうございます。

我が家が、ヒューマンハーバーと出会ったのは、主人の体調悪化で、自力運転が不可能になり通勤の往復をお願いするところを探したことが、出会いでした。

老齢により一般の公共交通機関を利用するのが難しくなった方や身体に障害を持たれて、同じように何らかの解除が必要になられた方の通院など外出の足になっていただけることは、利用者として大変ありがたいことと思っております。

また、他の団体と違い、会員の楽しみも盛り込まれた企画をされていることは、外出がしにくくなった私たちにとっては、健康であった時期と同じように楽しむ機会を設けていただき、これもある意味では人生の楽しさを再確認出来る機会である様に思えます。

ある時は、期せずして・・・また、ある時は、思いがけなく・・・と言う思いをされた方々が沢山おられるのではないかでしょうか。

人生を楽しむことも、一つの妙薬のように思えます。

皆様と共に、ヒューマンハーバーの20周年を記念して、楽しい嬉しい人生を過ごしたいと思えます。

末永く、この楽しい思いがつづけられますように。

## 20周年を祝い、感謝します。

宇津木 雅之

20周年を祝い、感謝します。

…と同時に、お疲れ様です。会員の皆様の力に支えられての事と恐縮します。

突然ですが「病院」を英語で言うと…「ホスピタル」

私が初めて介護ビジネスに携わったのが、介護保健施設の事務長でした。かつてホテル業界を学んだ経験を請われての事でした。その後、療養型病院の事務長補佐を経て、成城のNPOに参加した後、ヒューマンハーバーにお世話になっています。

さて先程の「ホスピタル」実は「ホテル」も或る同じ設備から生まれたんです。どちらにも共通するのが「ホスピタリティの心」そう、流行りの「おもてなし」という言葉に通ずるニュアンスです。

そこで、私たちスタッフもこの「ホスピタリティの心」を大切に、更なる飛躍を目指します！

## 「ヒューマンハーバー 20周年のご縁に際して」

サニー・けあサポート 代表取締役 實井 茂人

創立20周年を迎えたことに、心からお祝いを申し上げます。

サニー・けあサポートがヒューマンハーバーさんとのご縁を頂き9年になりますが、ちょうど20年という節目に立ち会わせて頂いたことを嬉しく思います。

「介護タクシー」という枠を超えて、活動中の一環として企画されている「バスツアー」は、事前に下見されていることもあります。障害のある弊社のお客様も安心して参加いただける大切なイベントの一つとなっています。

ある脳性麻痺のお客様は車椅子が必要になって以来、周りに迷惑を掛けるからという理由で外出を控えられていきました。

ヒューマンハーバーさんの「九十九里一泊研修旅行」を勧めたのはそんな時でした。

参加してみると、ボランティアの方々のみならず、周りの参加者の皆様にも優しくして頂き、思い出深い忘却得ぬ旅行になったそうです。

宿泊ホテルの温泉からは雄大な太平洋を望むことができ、「熱川温泉以来20年ぶりの温泉だ」と大変喜んで下さいました。

皆さんと一緒に浴衣を着て宴会でお酒を飲まれている姿は、私の知らない寝たきりになる前の若かりし頃を想像させるものでした。

今では孫ほど年の離れた若いヘルパーと一緒に、積極的に外出を楽しめています。

一言で「福祉」と言えどもその幅は広く多種にわたっています。

その中で単なる移送ではなく「楽しい集まり」を趣旨として運営されているヒューマンハーバーさんからは多くの事を学ばせて頂いております。

今後も、一歩先の情報を発信されることを期待し、益々のご発展を応援いたします。

## 輸送サービスで活躍している会の車両



# 皆様からのお祝いの言葉

## お祝いの言葉

世田谷区議会議員 津上 ひとし

特定非営利活動法人ヒューマンハーバー世田谷の創立二十周年に当たり、心からお祝い申し上げます。

貴団体におかれましては、平成七年に設立されて以来、高齢者や障害をお持ちの方々が住み慣れた地域でいききと暮らして行くための支援として、移動サービスと日帰り旅行会など様々な行事を開催してこられました。しかし、その取り組みのために、大変なご苦労とご尽力を続けられましたことに、衷心より敬意を表する次第でございます。

さて、現在、日本は超高齢社会の真只中にあります。十年後には、いわゆる団塊世代が七十五歳以上の後期高齢者になり、日本は「大介護時代」を迎えると言われます。そのため、「外出したい」と思っても、一人では自由に移動することが困難な方が、今後、増加すると考えられます。

移動手段には、民間バスやタクシーなどはありますが、これらは場所から場所の間を移動するのみであり、身体が不自由であったり、具合が悪かったりした時には、乗る前、降りた後の介助がなければ出かけることも困難となります。このような問題をサポートするため、貴団体が行う移動サービスや、ひまわりの集いのような外出する機会を提供することは、今後ますます重要な取り組みとなると考えます。

誰もが住み慣れた地域の中で、豊かな暮らしを実現するために、全力で取り組んでまいる所存でございます。

結びに、特定非営利活動法人ヒューマンハーバー世田谷の今後ますますのご発展と、会員の皆様の御健勝、ご多幸を心からお祈り申し上げ、お祝いの言葉と致します。

## 思い出を有りがとう

宮沢 みね子

20周年おめでとうございます。いつも色々な企画をして頂き有りがとうございます。感謝しております。旅行はいつも下見に行き、障害の有る方達が気持ちよく行けるように気くばりをして下さり、言うのは簡単ですが、20年間とても大変な事だと思います。

私は亡くなった奥さんとも親しくしていましたので、何かと私に出来る事はしたいと思って居ります。私もいつも集まりや旅行は楽しみにしています。なかなか個人で行くのは大変です。ほかの皆さんも同じ気持だと思います。隅さんがいつまでもつづけてほしいと思っています。お手伝いをして下さっているまわりの皆さんにも感謝して居ります。これからも元気でガンバッて下さいね。身体にはくれぐれも気をつけて下さい。本当に20周年おめでとうございます。

## ～あとがき～

水間喜美子さんが自宅を開放して障害者や高齢者が嬉しい集いを始めたのが平成5年5月でした。ボランティア団体から法人格を取得して、福祉有償運送事業として、国土交通省の管轄下で移送サービス事業を推進して本日無事創立20周年を迎えることが出来ました。これもひとえに皆様方のご支援、ご協力の賜物と深く感謝しております。

またこのたびは、お忙しい中、記念誌作成の為の原稿をお寄せ頂き有難うございました。

これからも当会の移送サービス事業発展の為にお力添えを頂きます様お願い致します。

最後になりましたが、皆様のご協力のもとに予定通り無事記念誌が発行できましたことを厚く御礼申し上げます。

平成27年6月吉日

代表理事長 隅 一清  
創立20周年記念誌制作実行委員会一同



## 創立20周年記念誌

発行日 平成27年6月吉日

発行 特定非営利活動法人  
ヒューマンハーバー世田谷  
記念誌制作実行委員会

電話 03-3487-5081  
世田谷区野沢3-4-18-102

印刷 関西美術印刷株式会社